

# 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録（3日目）

（令和5年3月6日 午前10時30分）

- 議長（佐藤武雄） 休憩前に続き、会議を開きます。なお外谷場教育次長より遅れるとの報告がありました。

通告の2、北村秋敏議員。

- 1、高齢者福祉の充実を
- 2、令和5年度の保育園体制について

議席番号2番、北村秋敏議員。

- ◆2番（北村秋敏） 議席番号2番、北村秋敏です。通告に従いまして、2点に渡って一般質問をさせていただきます。一つ目は高齢者福祉の充実をということで、町内二つの介護施設の開業と開業後の町との連携について、質問をさせていただきます。昨年度社会文教常任委員会では、高齢者福祉の充実に向けて、町内の介護施設の建設に対して補助金の増額等の政策提言を町に行ってきました。国県及び町から信濃町高齢者福祉計画第8期介護保険事業計画に基づく民間サービス整備に対して、補助金が交付されました。そこで看護小規模多機能型居宅介護、通称看多機と言っておりますが、及びケアハウスの開業に向けての進捗状況はどのようになっているのか伺います。

- 議長（佐藤武雄） 鈴木町長。

- 町長（鈴木文雄） 北村秋敏議員からの質問にお答えいたします。看護小規模多機能型居宅介護、それから特定施設入居者生活介護、こちらはケアハウスということでございますが、2施設の建設にかかります進捗状況であります。社会情勢の影響を受けまして、資材不足あるいは木材等の建設材料の価格高騰等によりまして、設計額の変更等が生じたため、両施設とも当初計画よりも少し進捗が遅れております。その具体的な内容については、担当課長の方から説明させていただきますが、現時点で少し遅れた状況となっていることだけ申し上げたいと思います。

- 議長（佐藤武雄） 柄澤住民福祉課長。

- 住民福祉課長（柄澤 豊） それでは両施設の建設の関係のスケジュールについて、私の方からご説明をさせていただきます。まず看護小規模多機能型居宅介護施設でございますが、建物の外観につきましては、ほぼ出来上がっているような状況でございます。今は内装関係を整備しているところでございまして、予定ではこの4月末ごろに完成をしまして、5月に指定申請をして令和5年来年度6月1日に開所予定とお聞きをござい

## 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

います。また、特定施設入居者生活介護、ケアハウスでございますけれども、令和4年11月に工事を着手しましたが、すぐに雪が降る状況でしたので、建物関係には手を付けずに11月30日から工事を休止しております。これから雪解けになるのですが、この3月中旬から工事を再開し、本格的に建物関係を建築いたします。令和5年8月末で完成の予定で、その後内覧会、仮オープンを経て、令和5年10月1日を開始予定として事業を進めていただいているところでございます。以上でございます。

●議長(佐藤武雄) 北村秋敏議員。

◆2番(北村秋敏) ただ今、看護小規模多機能型居宅介護、看多機は6月、そしてケアハウスは10月にオープン予定だということをお聞きいたしました。信濃町にこのような施設ができるということは、大変良いことだなと思っております。我が町における入所型の介護施設は、定員50名の特養が1施設、定員18名の認知症グループホームが1施設と定員9名の認知症グループホームが1施設しかなく、近隣の市町村と比較すると不足しております。2030年まで増え続けると予想される高齢者が、住み慣れた町で最後まで安心して暮らせる体制を整備する必要があるかと思えます。さらには令和5年度末には、町立信越病院の介護型病床が廃止になることから、この二つの施設の開業が、重要な役割になるかと思えます。そこでこの二つの施設の内容及びどのような人が利用できるのか伺います。

●議長(佐藤武雄) 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長(柄澤 豊) それでは私の方からお答えさせていただきます。看護小規模多機能型居宅介護ではありますが、これにつきましては、医療的ケアが必要な人の在宅生活を支えられるよう、利用者や家族の状況、そのニーズに応じて、「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」の多様なサービスを利用できる施設でございます。利用できる方は、要介護1以上で認定を受け在宅で暮らしている利用登録された方でございます。看護師が常駐をしておりますので、医療措置を必要な方、例えばインスリンの接種の必要な方ですとか、カテーテルを入れているというような方、それから退院後の体調が不安定な方、入院・入所を強く拒み、在宅療養を希望される方などが主な利用者となるものでございます。この看護小規模多機能型居宅介護につきましては、地域密着型の町の指定のサービス事業所になるわけでございますが、定員が今の計画している施設でございますけれども、登録定員が24人。それから泊りが6人、通所が12人という、通いですね。そういった形で、今進めているところでございます。

それからケアハウスでございますが、これにつきましては、自立した独居生活に不安のある高齢者が、低料金で食事や洗濯などのサービスを受けられる施設であります。ケアハウスには「一般型」と「介護型」の2種類があります。信濃町で開所予定のケアハウスは、1階を介護型ケアハウス、2階を一般型ケアハウスとする予定でございます。利用

## 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

できる方についてですが、一般型ケアハウスの利用できる方は、60歳以上で自立した独居生活に不安のある方になります。介護型ケアハウスの利用できる方は、65歳以上で要介護度1以上の認定を受けた方になります。当然定員がありますので枠があるのですが、予定枠は定員18でございます。県指定になります。介護型で9、一般型で9、合計18の予定でございます。

●議長(佐藤武雄) 北村秋敏議員。

◆2番(北村秋敏) ただ今の説明で、看多機の場合、看護小規模多機能型居宅介護なんですけど、要介護1の以上の方が利用できると。訪問看護、訪問介護、通い宿泊が一つの施設で利用できると、顔なじみのスタッフが対応できるということで安心感が生まれます。定員が両定員が24名、通いが12名、泊りが6名ということでございます。ケアハウスの場合は、低所得者向けの福祉施設というようなことで、一般型と介護型があり、合計で18床。18人が利用できるというようなことでございます。このケアハウスを利用する場合ですが、費用はどのくらいかかるのか伺います。

●議長(佐藤武雄) 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長(柄澤 豊) それでは費用の関係についてです。ケアハウスの関係でございますけれども、事務費ですとか、生活費、それから管理費などの部分につきましては、国の基準で決まっているわけでございます。ただ所得に応じて、金額が変動する部分が若干ございますのと、それから光熱水費等の変動、また介護度によって若干異なって参りますので、おおよその金額で予定事業者にお聞きをいたしました。そんな中で、一般型ケアハウスについては、おおよそ自己負担ですけれども、月9万円あまりになります。目安でございますので、参考でお願いをしたいと思いますけれども、介護型ケアハウスにつきましては、これも介護度によって違うんですが、要介護度2で計算をしましたところ、保険料が1割負担の方で、おおよそ11万円あまりと、お聞きをしました。なお、冬季間11月頃から3月ぐらいですかね、暖房費等の関係がありますので、若干プラスとなります。その方の条件によって変動がありますので、詳しくはその方の条件に応じて見積もって見ないと、はっきりした金額は申し上げられませんけれども、位置づけが軽費老人ホームという位置づけになりますので、通常の有料老人ホームよりは安価な、安く利用できるという施設と言えますので、お願いをしたいと思います。

●議長(佐藤武雄) 北村秋敏議員。

◆2番(北村秋敏) このケアハウスの料金については、比較的low料金で利用できると。国の基準で、所得によってまた変わってこようかと思いますが、一般型で9万円以上、それから介護型で11万円以上ぐらいということで、low料金ということでご利用もする方

## 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

については非常に良い施設だなと思います。物価高騰の中で、今事業者の方、これから10月に向けて取り組んでおりますが、いろいろ町からのご指導も行う中で、無事オープンに向けて進めてほしいなと思います。次の質問に入ります。開業後は町は、この二つの介護施設に対して、どのような支援、協力ができるのか伺います。

●議長(佐藤武雄) 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長(柄澤 豊) それでは今のご質問にお答えをさせていただきます。この二つの施設において、建設及び介護備品類の整備に当たっては、県の補助も申請する中で、議会にも予算をお認めをいただいて、建設費用について町も上乗せ補助をさせていただきました。開所後、事業者は運営経費など、特に開所の初期については投資が必要なわけですが、利用者を確認し、利用者やその家族から喜ばれ、併せて健全な経営を町としても期待しているところでもあります。町サイド、行政サイドといたしますと、今後の介護事業推進を担っていただく重要な民間事業者でありますから、第8期介護保険事業計画の介護施設の基盤整備計画に位置づけて補助をさせていただきました。運営経費に対して補助することについては、他の事業者との公平性、また補助金額や補助期間の設定等が困難であり、建設費用に対して上乗せ補助をさせていただいたところでもあります。事業者への今後の支援につきましては、将来の設備の更新でありますとか、大規模改修など、国県の補助が認められる事業については、町の負担分が設定されていれば補助していくこととなります。また、ソフト事業面においても、国県の情報を共有する中で、過去にもありました処遇改善などの事業がありますれば、町の負担割合に応じて支援していくことになると考えます。なかなか町単独でというのは難しいのですが、このいわゆる、看多機、ケアハウスだけでなく、今年度は地方創生臨時推進交付金を活用しまして、物価高騰対策支援金を、運営の一助でありますけれども、少額であります。町内介護事業所、それから障がい者施設に給付させていただきました。このように国県の補助等がつくものについては、積極的に支援をしてまいりたいというふうに考えてございます。また、日頃から介護事業所、包括支援センター、病院で組織する介護医療連携連絡会がございますけれども、情報交換等を行っており、介護と医療が連携する中で、様々な面において支援及び協力をして参りたいと考えてございます。以上でございます。

●議長(佐藤武雄) 北村秋敏議員。

◆2番(北村秋敏) 開業後の支援については、いろいろな関係から、他の施設との平等化とのこともありまして、特別支援ということは難しいようでございますが、国のいろいろな支援の中で、最近ですが光熱費の高騰などで施設の維持管理が大変になろうかと思っておりますが、これについて何か支援できるものはないか伺います。

## 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

●議長(佐藤武雄) 柄澤住民福祉課長。

■住民福祉課長(柄澤 豊) 今ほども申し上げたんですが、看多機、それからケアハウスに限らず今年度は地方創生の臨時交付金を活用させていただきまして、物価高騰対策の支援金を補助をさせていただいたところがございます。町内の介護事業所全てと、それと障がい者施設につきましても、この地方創生臨時交付金の給付をさせていただきました。金額がなかなか大きな額が出せなくて、少額でございますけれども、こういった国や県の補助が付くものについては、支援をして参りたいということでございます。今後このような補助等がありますれば、積極的に活用してまいりますのでお願いをいたします。

●議長(佐藤武雄) 北村秋敏議員。

◆2番(北村秋敏) 今後も国や県の補助交付金を利用して進めて行ってほしいと思います。その時には町からの指導、協力をお願いしたいと思います。今後は、看護職員数の確保なども、運営課題になってくるかと思いますが、ぜひとも町としても最大限の協力をお願いしたいと思います。続きまして、次の質問に入らせていただきます。野尻保育園の休園についての質問に入ります。町のホームページの2月1日付けで、町教育委員会では、令和5年度に保育士の不足が見込まれたことから、11月以降保育士募集の努力を続けてまいりましたが、1月末時点で、必要な人数を確保することができませんでした。そのため来年度は野尻保育園は休園とし、他の3園で未満児を含めて、希望される全児童の保育を行うこととしました、という報告がありました。また2月28日の議会の全員協議会の中でも、令和5年度の信濃町保育園の体制についての説明がありました。一連の経過の中で、1月に保護者有志の方から要望書が提出されました。そこで保護者からの要望書に対して、町はどのような対応をされたのか伺います。

●議長(佐藤武雄) 佐藤教育長。

■教育長(佐藤尚登) まずは、議員さんのご質問にお答えする前に、一言申し上げたいと思います。令和5年度の野尻保育園休園という事態に至ったことによって、園児、保護者、その他の関係者の皆様に様々なご負担やご心配をおかけすることになったことを、深くお詫び申し上げます。そこでご質問へのお答えになるのですが、若干経過的なことも含めて申し上げますと、令和5年度の保育士不足の可能性があきらかになった10月以降、教育委員会としては、代替の保育士確保に向けて、募集活動を展開してまいりましたが、12月の下旬の時点で、必要人数の確保が、かなり難しいという状況だと判断し、一方で保育を希望するお子さん、とりわけ未満児のニーズが高くなっているという状況を踏まえて、希望するお子さんを全てお預かりするためにどうしたら良いかということで、収容力の観点から、保育士確保ができなければ、野尻保育園を休園せざるを得ない

## 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録(3日目)

と判断し、12月の23日に、そのことを野尻保育園の保護者の皆様にご説明申し上げました。この説明を受けて、年が明けた1月10日に、野尻保育園の有志の方々から、教育委員会へ要望書が提出されました。1月10日付です。その翌日、要望に関するご説明をいただくということで、町からは町長、私それから教育委員会事務局職員で、保護者有志の方々が役場においてになって、要望書の中身を説明してくださいました。野尻保育園の魅力であるとか、あるいは仮に休園になった場合の通園の困難さであるとか、あるいはこう工夫すれば、休園しなくても良いのではないかというアイデアもいただきました。その要望書に対する回答を1月25日に野尻湖支館に、再び町長と私、それから教育委員会事務局職員が伺いまして、様々なアイデアをいただいたんですが、町として子どもたちの安全で、かつ質の高いと言いますか、充実した保育を展開するには、どうしてもフルタイムで勤務する保育士の確保が必要だということを25日に申し上げました。その席上でも、保護者の方々からは、具体的に保育士をやっていただけの方もいるんだという紹介までいただいたり、ぎりぎりまでしたのですが、最終的に1月、2度延期をしてはいるんですが、最後の期限である1月27日には必要数が確保できず、最終的に野尻保育園を休園するということを決めて、保護者の皆様にご通知申し上げました。現在、野尻保育園を希望されていた保護者の皆様とは、通園方法の対応等について、打ち合わせをしているところです。要望書への対応ということで、お答えいたしました。

●議長(佐藤武雄) 北村秋敏議員。

◆2番(北村秋敏) ただ今のご説明で、1月10日に要望書が提出され、1月25日に回答されたということで、要望書の内容については、私も見させていただきました。休園はなんとか食い止めてほしいと、野尻保育園の重要性、そして信濃町における保育園のあり方などが書かれており、保護者の皆さんの思いが込められておりました。その中で保護者の方から、いろいろな要望に対して、委員会等を設けて検討をしていくというようなことを聞いたということで、これについて、もし内容を具体的に説明いただければと思いますが、教育長、よろしくお願いします。

●議長(佐藤武雄) 佐藤教育長。

■教育長(佐藤尚登) 保育園をめぐる情勢は、実は2年ほど前にも、保育士の不足が見込まれるような状況もありまして課題として認識しておりますので、教育委員会としては、町の保育のあり方全般を見直すと言いましょうか、検討して見直すべきは見直していかなければいけないと考えておりますので、令和5年度のしかるべき時に、そういった必要があれば、新たな組織を立ち上げるということも選択肢に入るかと思いますが、保育園あるいは保育のあり方を検討する予定でいます。

●議長(佐藤武雄) 北村秋敏議員。

## 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録（3日目）

◆2番（北村秋敏） ぜひ、今後の保育園のあり方について、建物の維持、それから管理、送迎の問題、それから保育の質の問題、地域の皆さん方の支援、そして今後の保育園児の人数の変化なども、様々に把握する中で、ぜひ様々な点から話し合いの場を作るといふことが必要だと思います。ぜひ、新年度の事業計画の中に参加していただいて、この信濃町のこの保育園のあり方委員会みたいなものを設置して進めて行っていただければ、すごく良いかなと思いますが、再度、教育長にお伺いいたします。

●議長（佐藤武雄） 佐藤教育長。

■教育長（佐藤尚登） 現時点で、具体的なその検討のための組織のイメージまではできておりませんので、そういったものが必要になった時点で、補正予算等で必要な経費をお願いして、速やかな検討に着手したいと考えております。

●議長（佐藤武雄） 北村秋敏議員。

◆2番（北村秋敏） ぜひお願いしたいと思います。続いて、保育士不足について質問をさせていただきます。保育士不足は、信濃町だけではなく国全体の社会的問題となっております。保育士不足の原因について、少し調べてみました。全国の動向を調べてみたところ、保育士資格所有者の5割は、保育園に就職しない、また早期離職者が多いことが原因になっています。責任が重い、事故への不安、賃金が低い、休暇が取りにくい、人間関係に不安が、健康体力に不安など、また潜在保育士の復帰、潜在保育士とは、保育士の資格を持っていても、保育士として働いていない人の場合ですが、復帰しない理由として、待遇の改善や不安が解消されない限り、復帰は難しいとされています。そこで、保育士不足について、今後どのような対策、対応をしていくのか伺います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤教育長。

■教育長（佐藤尚登） 議員ご指摘の通り、保育士不足は全国的なものと認識しています。国の配置基準で、児童の年齢に応じて、保育士の人数が決まっていますので、ニーズの高い未満児の受け入れが多くなれば、当然必要な人材確保が難しくなるという状況にあります。信濃町に限って申し上げますれば、保育園の数を減らすと言いますか、集約すれば効率的な保育所の配置が望めるとは思いますけれども、いずれも築30年ないし50年経過した現在の園舎では、未満児に対応した保育スペースが確保できない状況で、大規模な改修が必要となってきます。先ほどの答弁とも重なりますけれども、全体として児童数の減少があるため、その対応については、町民の皆さんのご理解を得ながら、検討を進めて参りたいと考えています。これは感覚的なことを申し上げて恐縮なんですけど、その保育士に限らず、必要な人員の確保というのが、様々な領域で困難になってきているのを実感します。保育士もそうですが、今学校では教員の確保に苦慮しているという実

## 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録（3日目）

態があります。一つの町で、抜本的な対策というのは難しいんですが、引き続き精力的に各方面に働きかけるなり、あるいは県内の保育士の確保についてですけれども、県内の養成施設等を繰り返し回って、紹介をお願いするというようなことは、当然来年度も進めていく予定であります。

●議長（佐藤武雄） 北村秋敏議員。

◆2番（北村秋敏） ただ今の説明で、国全体として、いろいろな面で保育士に限らず、不足されておりますが、その中で、今年度2名の保育士が現在不足されているということで、具体的に会計年度任用職員の方を募集されているようなのですが、正規職員の募集というのはしないのか、お伺いいたします。

●議長（佐藤武雄） 佐藤教育長。

■教育長（佐藤尚登） 正規職員は当然欠員が生ずれば募集します。令和5年度には、現在お一人の正規保育士の方を採用する予定でいます。令和6年度の採用については、今後の保育士さんたちの状況を見ながら考えて進めてまいります。

●議長（佐藤武雄） 北村秋敏議員。

◆2番（北村秋敏） 現在は、そのように進めておられるということで安心しました。保育士が仕事を継続できるように、サポート体制そしてまた処遇改善等も、保育士不足の一つの改善策になるかと思えます。思い切った対策も必要かなと思えます。町外からの獲得も考えるべきかと思えます。保育士不足だけではなく、先ほどお話がありました教員の方、それから介護士、看護師さん、それらも同じだと思えます。移住定住促進事業をさらに強化し、町全体で対応をして行っていただきたいなと思えます。最後の質問に入らせていただきます。具合的に令和6年度は、野尻保育園は復園できるのかということです。保育士が確保でき、園児も一定数確保できれば、復園できるのか伺います。

●議長（佐藤武雄） 佐藤教育長。

■教育長（佐藤尚登） 私どもが、令和5年度にお願いしたのは、保育士の確保が困難なために、令和5年度野尻保育園を休園させていただくということですので、議員がおっしゃるとおり、保育士が確保され、かつ一定数、一定数というのがなかなか難しいですけれども、希望する園児がおいでになれば、当然再び開園することになると思えます。そのためには、例年よりも早い時期で予備調査的な、野尻保育園を希望される方々の調査なども検討していかなければいけないと考えています。それらの結果を見て、適切な判断をしてまいります。

## 令和5年第421回信濃町議会定例会3月会議 会議録（3日目）

---

●議長（佐藤武雄） 北村秋敏議員。

◆2番（北村秋敏） ただ今の説明を聞く中で、早い時期に予備調査をする中で進めていきたいと。ぜひ来年度は開園復園できるよう、一層の奮闘をお願いしたいと思います。これを持ちまして、一般質問を終わらせていただきます。

●議長（佐藤武雄） 以上で北村秋敏議員の一般質問を終わります。この際申し上げます。昼食のため、午後1時まで休憩といたします。

（終了 午前11時08分）